



低地や海岸近くでは普通に見られる。



掌状複葉。



観葉植物のホンコンカボックの仲間。

区別のポイント

掌状複葉を持つのは常緑高木の本種と、つる性のムベ。

形態 常緑高木。高さ6～12 m。

分布 九州南部・沖縄

名前の由来

葉 **〈全体〉**掌状複葉。小葉は7～10個で長さ7～20 cm、幅3～7センチの狭長楕円形または倒卵状楕円形。大きさは不揃いで中央の小葉が最も大きい。
〈付き方〉互生。 **〈葉柄〉**長さ10～30 cm。
〈小葉の基部〉小葉は長さ1～5 cm。
〈小葉の葉先〉鋭く尖る。
〈小葉の縁〉波打ち、全縁または不揃いの欠刻が少しある。

備考

出典 4, ※